



「桜の木を切りました」

城山中学校の裏庭に大きな大きな桜の木があります。3月の終わりから4月の初めにかけて、空一面を桜で覆います。桜の葉のわずかな隙間から見える青空が桜のピンクを引き立てます。桜が満開になる時には、桜の持つエネルギーを感じてしばらく足を止めて空を見上げました。また北館3階の多目的室から見える風景は桜が雲のじゅうたんのように見えて声に出ないほどの美しさです。

昨年、風の強い日に桜の枝が根元から折れて地面をふさぎました。たまたま、折れた時、駐車場に車もなく、生徒も活動していなかったので幸い怪我も物損もありませんでした。ただ巨大な桜の枝が裏庭に横たわっていました。樹齢を重ねて、大きくなった桜は、その枝を支える力がなく、いつ折れるかわからない危険な状態ということで、今回、伐採することになりました。桜の伐採された裏庭は、何もなく殺風景になってしまいました。桜のファンの私にとってはとても残念な気持ちでいっぱいになりました。しかし、生徒や職員の安全を考えたらやむをえないことだと思います。裏庭の空一面をピンクで覆っていた桜を生徒の皆さんも見ていたと思います。

城山の裏庭の巨大なソメイヨシノが毎年見せていた見事な満開の風景と花吹雪を忘れないでいたいと思います。「昔は、ここに大きな桜があって、花吹雪の中を裏庭を走ったものだよ」と伝えてほしいと思います。私は裏庭の枝垂れ桜が大好きで、枝垂れ桜の下に咲く菜の花の黄色と桜のピンクの美しさに毎年心が癒されました。大きな切り株に今年は、3月の終わりに、「今までありがとう」と声をかけようと思っています。枝垂れ桜のファンの一人として……。



